

## 加美宏教授 著述目録

〔著書・編著書等〕

- |   |        |    |       |    |
|---|--------|----|-------|----|
| 〔将門記 研究と資料〕（梶原正昭・小林保治・佐藤陸・村上春樹・矢代和夫と共著、孔版）          | 古典遺産の会 | 60 | （昭35） | 3  |
| 〔将門記 研究と資料〕（改訂増補版、梶原正昭・小林保治・佐藤陸・村上春樹・矢代和夫と共著）       | 新読書社   | 63 | （昭38） | 11 |
| 〔平家物語〕（日本文学研究資料叢書、小林保治と共編）                          | 有精堂    | 69 | （昭44） | 12 |
| 〔軍記文学〕（梶原正昭・矢代和夫と共編）                                | 桜楓社    | 74 | （昭49） | 4  |
| 〔梅松論・源威集〕（新撰日本古典文庫、矢代和夫と共著）                         | 現代思潮社  | 75 | （昭50） | 8  |
| 〔太平記享受史論考〕  | 桜楓社    | 85 | （昭60） | 5  |
| 〔室町軍記総覧〕（青木晃・大森北義・梶原正昭・白崎祥一・鈴木孝庸・萩原康正・松林靖明・矢代和夫と共著） | 明治書院   | 85 | （昭60） | 12 |
| 〔畿内戦国軍記集〕（青木晃・藤川宗暢・松林靖明と共著）                         | 和泉書院   | 89 | （平1）  | 1  |
| 〔太平記（第一部）〕（長谷川端・大森北義・長坂成行と共編）                       | 和泉書院   | 89 | （平1）  | 4  |
| 〔新講日本の文学〕（清原和義・大槻修・大輪靖宏・山内祥史と共著）                    | 聖文社    | 90 | （平2）  | 5  |
| 〔神宮徴古館本太平記〕（長谷川端・大森北義・長坂成行と共編）                      | 和泉書院   | 94 | （平6）  | 2  |
| 〔平家・義経記・太平記〕（カラー版、小山利彦・石黒吉次郎と共編）                    | おうふう   | 95 | （平7）  | 6  |
| 〔太平記の受容と変容〕   | 翰林書房   | 97 | （平9）  | 2  |
| 〔戦国軍記事典 群雄割拠篇〕（青木晃・阿部一彦・大津雄一・大森北義・梶原正昭・佐藤陸・鈴木孝庸・    | 和泉書院   | 97 | （平9）  | 2  |
| 武田昌憲 野中哲照・萩原康正・藤川宗暢・松林靖明・矢代和夫と共著）                   | 和泉書院   | 98 | （平10） | 4  |
| 〔古態本太平記抄〕（長谷川端・大森北義・長坂成行と共編）                        |        |    |       |    |

- 『太平記秘伝理尺鈔』 1 (東洋文庫、今井正之助・長坂成行と共著)  
 『太平記秘伝理尺鈔』 2 (東洋文庫、今井正之助・長坂成行と共著)  
 『太平記秘伝理尺鈔』 3 (東洋文庫、今井正之助・長坂成行と共著)  
 (論文集)

将門記論稿

軍記物語前史

将門記の形態と方法―その前史的考察―

東国武士の人間像(一)―軍記物文芸と歴史との両面から―

陸奥話記論稿(二)―研究史の展望―

平将門―将門記―

『さざなみ軍記』ノート(一)―その成立をめぐって―

武蔵七党について―軍記研究のためのノートから―

『太平記』から後の軍記について

藤原広嗣の乱の記録と説話

合戦記と合戦譚

平家物語の梗概と論評―巻四

『心永記』の本文について

『心永記』小考―第一類本「塚記」を中心として―

合戦注文と『平家物語』

『大塔物語』考序説

『将門記 研究と資料』(孔版) 古典遺産の会 60 (昭35) 3

『解釈と鑑賞』 28 4 63 (昭38) 3

『将門記 研究と資料』(改訂増補版) 新読書社 63 (昭38) 11

『古典遺産』 12 63 (昭38) 11

『古典遺産』 13 64 (昭39) 5

『国文学』 9、14 64 (昭39) 11

『古典遺産』 14 64 (昭39) 12

『古典遺産』 15 65 (昭40) 12

『軍記と語り物』 4 66 (昭41) 12

『軍記と語り物』 5 67 (昭42) 12

『解釈と鑑賞』 32、13 67 (昭42) 12

『国文学』 13、12 68 (昭43) 10

『軍記と語り物』 6 68 (昭43) 12

『軍記物とその周辺』 早稲田大学出版部 69 (昭44) 3

『古典遺産』 19 69 (昭44) 3

『古典遺産』 20 69 (昭44) 12

平家物語諸説一覽―説話・平曲

『諸説一覽平家物語』明治書院 70(昭45) 6

『大塔物語』小論―室町軍記研究の手がかり―

『文学』38 8 70(昭45) 8

『太平記抜書』の類ノート―太平記享受史のひとこま―

『国文学研究』44 71(昭46) 6

『太平記抜書』の類ノート(続)―太平記の享受と研究にふれて―

『学苑』381 71(昭46) 9

『太平記』研究史 中・近世篇(一)

『太平記研究』1 71(昭46) 12

中世における「太平記読み」について―『蔭涼軒日録』の記事を中心に―

『軍記と語り物』9 72(昭47) 3

平家物語―その合戦記にみる―

『解釈と鑑賞』37 72(昭47) 11

太平記―バサラ―(異端名作案内)

『解釈と鑑賞』38 73(昭48) 2

『将門記』の位置をめぐる覚え書―中古と中世の交差軸として―

『文学・語学』68 73(昭48) 8

平家物語「宇治川先陣」をめぐって

『学苑』408 73(昭48) 12

山田美妙(近代文学と説話文学)

『高等学校国語科教育研究講座 第八卷』有精堂 74(昭49) 3

作品研究『忠度』

『日本の説話 第六卷』東京美術 74(昭49) 3

『大鏡』瞥見

『観世』43 76(昭51) 3

編年体日本古典文学史 宝徳三年(一四五一)―寛正元年(一四六〇)など三項目

『国語科通信』31 76(昭51) 5

『国府台戦記』小考

『国文学』22 77(昭52) 2

太平記における畑時能―最後の伝奇的人物―

『甲南国文』24 77(昭52) 3

南北朝期における楠木正成像―『太平記』享受史のために―

『甲南国文』25 78(昭53) 3

『応永記』の諸本について

『甲南国文』26 78(昭53) 11

『太平記』と室町・戦国軍記―『太平記』享受史のために―

『甲南女子大学国文学公開講座ノート』1 79(昭54) 3

『甲南女子大学研究紀要』15 79(昭54) 3

二 一条河原の落書

『太平記』研究史 中・近世篇(一)

物語僧小考―『大塔物語』所出の頼阿をめぐって―

十五世紀末の『太平記』書写と校合―『十輪院内府記』の記事を中心に―

中世における『太平記』の享受

『言経卿記』と『太平記』―『太平記』受容史のひとつ(一)

『太平記評判秘伝理尽鈔』をめぐって

『言経卿記』と『太平記』―『太平記』受容史のひとつ(二)

『太平記理尽鈔』講釈の資料について

『太平記』研究史 中・近世篇(三)

『太平記』読み―中世末期から近世初期へ―

小嶋法師―『太平記』を著わした幻の人物―

『言経卿記』と『太平記』―『太平記』受容史のひとつ(三)

琵琶法師―平曲

『難太平記』の『太平記』関係記事―『太平記』享受史の一章―

軍記物の拡散と転生―『明德記』から『太閤記』まで―

形成期の太平記読み―『家乗』の記事を中心に―

軍記物の展開―『太平記』と後期軍記―

『太平記鈔』について―『太平記』研究史の一章―

児島高德―幻影の忠臣―

『歴史読本』 24 7 79 (昭54) 6

『太平記研究』 6 79 (昭54) 9

『国学院雑誌』 81 3 80 (昭55) 3

『甲南女子大学研究紀要』 16 80 (昭55) 3

『太平記』(鑑賞日本の古典) 尚学図書

『甲南国文』 28 81 (昭56) 3

『日本文学』 31 1 82 (昭57) 1

『甲南国文』 29 82 (昭57) 3

『私学研修』 90 82 (昭57) 7

『太平記研究』 7 82 (昭57) 12

『日本のことばと文芸』 4 82 (昭57) 12

『別冊歴史読本』 8 1 83 (昭58) 1

『甲南国文』 30 83 (昭58) 3

『解釈と鑑賞』 48 15 83 (平58) 12

『太平記研究』 8 84 (昭59) 10

『軍記物の系譜』世界思想社

『国語と国文学』 62 11 85 (昭60) 11

『日本文学新史 中世』至文堂

『同志社国文学』 29 87 (昭62) 3

『歴史読本』 32 17 87 (昭62) 9

『太平記理尽鈔』のことなど―『太平記』研究史の一章―

『太平記理尽鈔』と『本朝通鑑』―近世における『太平記』受容史の一斑―

『太平記』と中世軍記もの

琵琶法師と太平記読み

『曾我物語』―復讐の文学―

語りの文学―『浪漫化された軍記物語』など三項目

評判記の先駆―軍記評判―

『太平記』の世界―南北朝の時勢粧を描いた軍記―

『太平記』評価と受容の系譜―『太平記評判』から『私本太平記』まで―

『太平記理尽鈔』の「名義并来由」―『太平記』研究史の一章―

政治・軍学の書として読まれた『太平記』

『太平記大全』について―『太平記』研究史の一章―

楠木正成と泣男―『太平記』享受史のひとこま―

『太平記綱目』小考(一)―成立と著者をめぐって―

『太平記評判』に関する補説―『理尽鈔』と『無極鈔』をめぐって―

『太平記綱目』小考(二)―その概要・評判書との関わり―

『太平記綱目』小考(三)―独自記事・附録と史的位置―

〔仏教芸能〕琵琶語り

『太平記』と守護大名

雑俳・川柳にみる『太平記』の享受―楠木正成関係句を中心に―

『同志社国文学』 30 88 (昭63) 3

『人文学』 146 88 (昭63) 9

『彷彿月刊』 4、12 88 (昭63) 11

『解釈と鑑賞』 53、13 88 (昭63) 12

『解釈と鑑賞』 53、13 88 (昭63) 12

『時代別日本文学史事典 中世』 有精堂 89 (平1) 8

『歌舞伎評判記集成』 第二期月報 7 89 (平1) 11

『ばさら大名のすべて』 新人物往来社 90 (平2) 11

『国文学』 36、2 91 (平3) 2

『伝承の古層―歴史・軍記・神話―』 桜楓社 91 (平3) 5

『解釈と鑑賞』 56、8 91 (平3) 8

『室町芸文論攷』 三弥井書店 91 (平3) 12

『古典遺産』 42 92 (平4) 3

『同志社国文学』 40 94 (平6) 3

『同志社国文学』 41 94 (平6) 4

『同志社国文学』 41 94 (平6) 11

『甲南国文』 42 95 (平7) 3

『仏教文学講座 第七卷』 勉誠社 95 (平7) 12

『太平記の成立』 (軍記文学研究叢書8) 汲古書院 98 (平10) 3

『軍記文学の系譜と展開』 汲古書院 98 (平10) 3

『大坂物語』の作者圈

『承久記・後期軍記の世界』(軍記文学研究叢書10) 汲古書院 99(平11) 7

『将門記』研究史の考察―太平洋戦争終結以前―

『軍記文学の始発―初期軍記』(軍記文学研究叢書2) 汲古書院 00(平12) 5

『太平記秘伝理尺鈔』の書名について

『論集太平記の時代』新典社 04(平16) 4

※

戦記文学の形成

修士論文(早稲田大学) 60(昭35) 2

太平記享受史研究

博士論文(早稲田大学) 98(平10) 11

〈その他〉

『大内義弘物語』(翻刻・解題)

『軍記と語り物』 4 66(昭41) 12

『太平記畑氏談』(上)(翻刻・解題)

『古典遺産』 16 67(昭42) 2

『太平記畑氏談』(下)(翻刻)

『古典遺産』 17 67(昭42) 12

『寛永以前落首』(翻刻・解題)

『甲南女子大学研究紀要』 18 82(昭57) 3

『別所記事』(翻刻・解題)

『畿内戦国軍記集』和泉書院 89(平1) 1

『楠氏二先生全書』(翻刻・解題)

『太平記の受谷と変谷』翰林書房 97(平9) 2

※

平安物語研究史の展望・平家物語研究参考文献(小林保治と共同執筆)

日本文学研究資料叢書『平家物語』有精堂 69(昭44) 12

梅松論解説・源威集解説

新撰日本古典文庫『梅松論・源威集』現代思潮社 75(昭50) 8

昭和五十五年国語国文学界の展望 中世(散文)

『文学・語学』 91 81(昭56) 8

平家物語の基本史料(編集)・琵琶法師

別冊国文学『平家物語必携』学燈社 82(昭57) 8

『太平記』を素材とした小説・戯曲・評論(稿)(青木晃と共同執筆)

『太平記研究』 7 82(昭57) 12

『太平記』享受史料(中世篇)

『太平記享受史論考』桜楓社 85(昭60) 5

軍記（中世後期）研究三十年の展望

太平記享受史年表（中世・近世）（田中正人と共同執筆）

解説1—『太平記秘伝理尽鈔』とその意義・影響・研究史

※

「足軽」「右筆・祐筆」など106項目

「赤坂道信」「安居院派」など81項目

「大塔物語」「岡山」の項

「鎌倉大草紙」「源威集」の項

「神明鏡」の項

「本能寺」「三木」の項

「源平盛衰記」の項

「太平記綱目」「太平記評判秘伝理尽鈔」の項

「応永記」「大塔物語」の項

「浅原為頼」「金売り吉次」など6項目

「応永の乱」「長浜の戦い」など4項目

「源平盛衰記」の項

「太平記綱目」「太平記評判秘伝理尽鈔」の項

「足利義満」「三条西実隆」の項

「南海通記」「南海治乱記」など13項目

「軍書」「太平記の版本」の項

『中世文学研究の三十年』中世文学会 85（昭60） 10

『太平記の世界』汲古書院 00（平12） 9

『太平記秘伝理尽鈔』1 平凡社 02（平14） 12

『平家物語辞典』明治書院 73（昭48） 11

『平家物語研究事典』明治書院 78（昭53） 3

『日本古典文学大辞典』1 岩波書店 83（昭58） 10

『日本古典文学大辞典』2 岩波書店 84（昭59） 1

『日本古典文学大辞典』3 岩波書店 84（昭59） 4

『日本古典文学大辞典』5 岩波書店 84（昭59） 10

『大百科事典』5 平凡社 84（昭59） 11

『大百科事典』9 平凡社 85（昭60） 3

『室町軍記総覧』明治書院 85（昭60） 12

『日本伝奇伝説大事典』角川書店 86（昭61） 10

『日本合戦事典』叢文社 88（昭63） 4

『日本史大事典』2 平凡社 93（平5） 2

『日本史大事典』4 平凡社 93（平5） 8

『世界人物逸話大事典』角川書店 96（平8） 2

『戦国軍記事典 群雄割拠篇』和泉書院 97（平9） 2

『日本古典籍書誌学辞典』岩波書店 99（平11） 3

「軍記と説話」「中世説話」の項

『日本説話小事典』大修館書店 02(平14) 4

『太平記享受史論考』の項

『日本史文献事典』弘文堂 03(平15) 12

※

平家物語(6) 〱(12) (そこが聞きたい文学史、長野管一との対談)

『解釈と鑑賞』34 10 〱 35 4 69(昭44) 10 〱 70(昭45) 4

史書あるいは合戦記としての梅松論をめぐる(森秀人との対談)

『梅松論・源威集』別冊 現代思潮社 75(昭50) 8

秦 恒平著『風の奏で』を読む(梶原正昭・小林保治との座談会)

『古典遺産』33 82(昭57) 10

軍記物の行方―室町・戦国軍記の展望―

『軍記物語の展開』(国文学研究資料館講演集8) 87(昭62) 3

基調発表・軍記文学にあらわれた伊勢平氏と木曾義仲

第九回春日井シンポジウム『東海学が歴史を変える』五月書房 02(平14) 11

講演・日本史における語り部

『古代奈良にみる装い文化とシルクロード』シルクロード学研究センター 02(平14) 11

※

逆櫓の松

小冊子・大阪福島ライオンズクラブ 80(昭55) 8

佐々木八郎―実証と文学への熱情と―(早稲田の国文学者)

『国文学研究』81 83(昭58) 10

ひなびた里の愛すべき春歌「こつび」の歌―

『古代探求・森浩一の70の疑問』中央公論社 98(平10) 6

※

書評・今成元昭著『平家物語流伝考』(梶原正昭と共同執筆)

『国文学研究』45 71(昭46) 10

書評・佐々木八郎著『徒然草の味わい方』

『学苑』411 74(昭49) 3

書評・竹下数馬著『おくのほそ道』の虚構と真実

『立正大学国語国文』23 87(昭62) 3

書評・矢代和夫・松林靖明・萩原康正・鈴木孝庸編『室町軍記 赤松盛衰記―研究と資料―』

『古典遺産』47 96(平8) 11

書評・亀田帛子著『吾妻鏡』と中世物語

『古典遺産』48 98(平10) 6